

《決算関係案件》

認第1号 令和4年度 南和広域医療企業団 病院事業会計決算について 【議案資料 1】

《予算関係案件》

議第10号 令和5年度 南和広域医療企業団 病院事業会計補正予算（第1号）について 【議案資料 2】

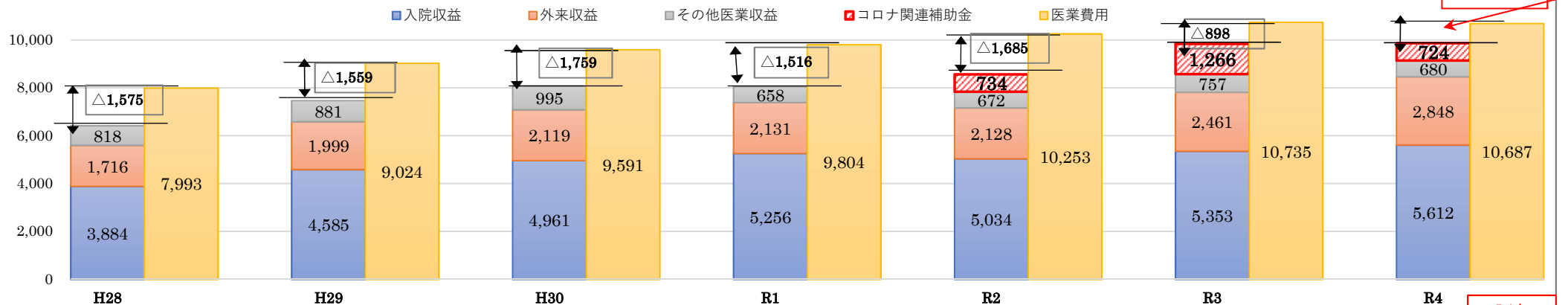
《報告案件》

報第1号 令和4年度 南和広域医療企業団 病院事業会計予算繰越報告について 【議案資料 3】

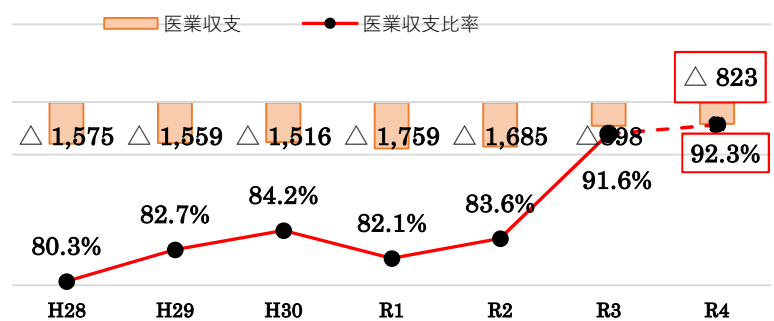
報第2号 南和広域医療企業団 病院事業会計資金不足比率の報告について 【議案資料 4】

医療収支	▲ 823	▲ 898	75	
医療収益	9,864	9,837	27	
入院収益	5,612	5,353	259	患者数の増127,994 (124,170) 【南奈良74,072 (70,169) 吉野28,736 (30,898) 五條25,186 (23,103)】 コロナ感染症等の診療単価の増
外来収益	2,848	2,461	387	患者数の増201,752 (188,641) 【南奈良168,070 (156,715) 吉野18,915 (19,125) 五條14,767 (12,801)】 コロナ感染症、がん化学療法等の診療単価の増
その他医療収益	1,404	2,023	▲ 619	コロナ関連補助金の減 (▲ 5 4 2)
医療費用	10,687	10,735	▲ 48	給与費の減 (▲ 3 1 8) 減価償却費の減 (▲ 1 4 2) 薬品費・材料費の増 (3 3 2) 光熱費の増 (7 4)
医療外収支	1,545	2,819	▲ 1,274	
医療外収益	1,806	3,074	▲ 1,268	長期前受金戻入 8 6 2 (前年度比▲ 1 2 8 9 : 過年度処理含む) 市町村等負担金 6 2 6、国県等補助金 1 0 5
医療外費用	261	255	6	看護師養成事業 1 4 1、訪問看護事業 5 1
経常利益	722	1,921	▲ 1,199	
特別損失	▲ 57	0	▲ 57	過年度コロナ関連補助金返還金
当年度純利益	665	1,921	▲ 1,256	

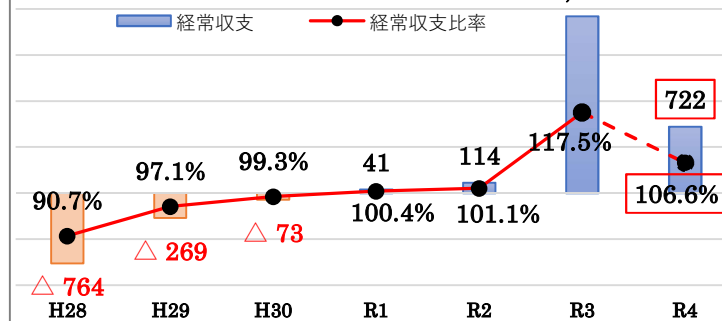
医療収益・費用の推移



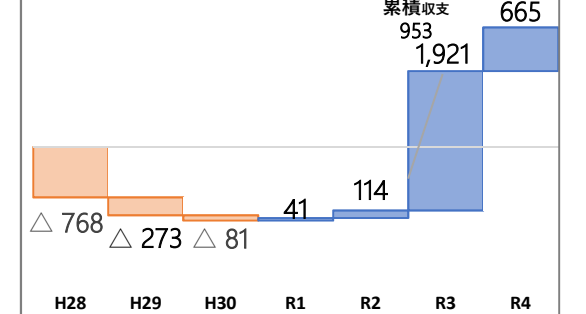
医療収支比率の推移



経常収支比率の推移



累積収支の推移 (特別損益含む)



新型コロナウイルス感染症の特殊事情がなかったとしたら（試算）～ 企業団の実力について ～

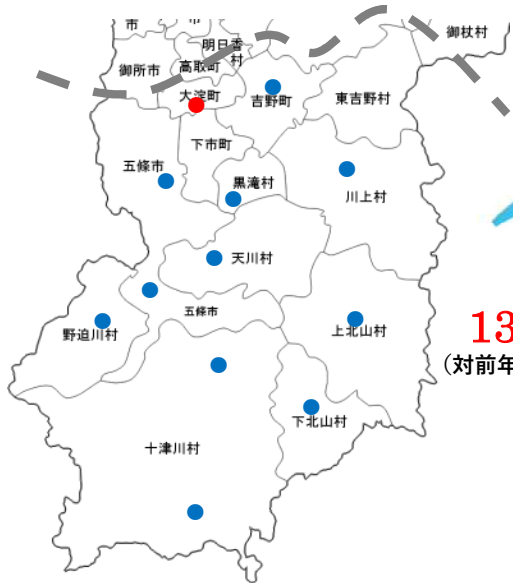
■ 新型コロナウイルス感染症対応の特殊事情を排除した場合の「試算上の当年度経常利益」は、117百万円

	百万円
R4経常収支額 (A)	722
－ コロナ関係 (B)	1,324
＋ 補正 (C) ※ 得べかりし収益	719
差引後 (D)	117

	決算額 (A)	コロナ関係 (B)	補正 (C)	差引後 (D) A-B+C		
病院事業収益	11,671	1,641	898	10,928		
医業収益	9,862	1,561	898	9,199		
入院収益	5,612	患者受入れに伴う診療収入 {	232床で計算 898	5,870		
外来収益	2,848				112	2,736
その他収益	359				84	275
補助金・負担金	1,043	724		319		
医業外収益	1,649	81		1,568		
補助金・負担金	725	81		644		
長期前受金戻入	862			862		
その他医業外収益	62			62		
訪問看護	38			38		
看護師養成	122			122		
病院事業費用	10,949	317	179	10,811		
医業費用	10,688	317	179	10,550		
給与	5,378	120		5,258		
材料費	2,054	173	179	2,060		
経費	2,307	24		2,283		
減価償却費	932			932		
その他	17			17		
医業外費用	69			69		
訪問看護	51			51		
看護師養成	141			141		
経常収支	722	1,324	719	117		

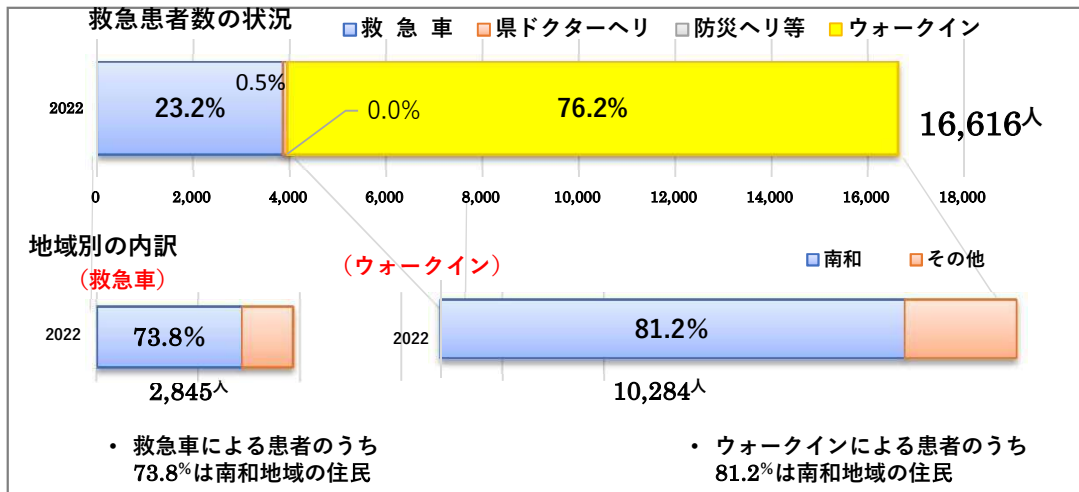
令和4年度（4月～3月）救急外来の状況について

南奈良総合医療センター



■ 救急外来受入れ人数 16,616件 (対前年度+27.7%)
 このうち、13,189人 (全体の79.4%) を南和地域の住民に利用していただいている rf.R③10,324人 (全体の79.3%)

13,189人
 (対前年度 +2,865人(+27.8%))
 が救急外来へ



● 救急外来の状況 (R4.4～3月実績) ※患者住所地

救急外来の状況	2021			2022			増減		
	南和	豊梨	計	南和	豊梨	計	南和	豊梨	計
救急車	2,600	843	3,443 (26.5%)	2,845	1,010	3,855 (23.2%)	245 (+9.4%)	167 (+19.8%)	412 (+12.0%)
県ドクターヘリ	91	28	119 (0.9%)	60	29	89 (0.5%)	▲31 (▲34.1%)	1 (+3.6%)	▲30 (▲25.2%)
防災ヘリ等	3	7	10 (0.0%)	0	4	4 (0.0%)	▲3 (-)	▲3 (▲42.3%)	▲6 (▲60.0%)
ウォークイン	7,630	1,812	9,442 (72.6%)	10,284	2,384	12,668 (76.2%)	2,654 (+34.8%)	572 (+31.6%)	3,226 (+34.2%)
合計	10,324	2,690	13,014 (100.0%)	13,189	3,427	16,616 (100.0%)	2,865 (+27.8%)	737 (+27.4%)	3,602 (+27.7%)
1日平均	28.3	7.4	35.7	36.1	9.4	45.5	7.8	2.0	9.9



● 県ドクターヘリ (60件) の内訳 (患者住所地)

市町村名	件数	市町村名	件数
五條市	23	野迫川村	1
吉野町	11	十津川村	11
大淀町	3	下北山村	2
下市町	0	上北山村	2
黒滝村	1	川上村	1
天川村	4	東吉野村	1

【参考】県ドクターヘリ出動・搬送状況 (R4.4～3月実績)

出動件数	累計			搬送件数	累計		
	2021	2022	増減		2021	2022	増減
南和保健医療圏	189	175	-14	南奈良総合医療センター	119	89	-30
奈良保健医療圏	14	29	15	対出動件数 (キャンセル除く)	29.2%	22.6%	-6.6pt
西和保健医療圏	58	48	-10	南和地域出動受入件数	103	80	-23
中和保健医療圏	52	57	5	奈良県立医科大学附属病院	141	152	11
東和保健医療圏	74	70	-4	奈良県総合医療センター	33	56	23
県外	20	14	-6	その他	114	96	-18
小計	407	393	-14	合計	407	393	-14
離陸後キャンセル	73	48	-25				
合計	480	441	-39				

令和4年度（4月～3月） 救急搬送状況について

南奈良総合医療センター



■ 南和地域管内救急搬送件数 **4,837件**
 このうち南奈良HCに、**3,547件**の要請があり、**3,145件**（応需率88.7%）を受け入れ

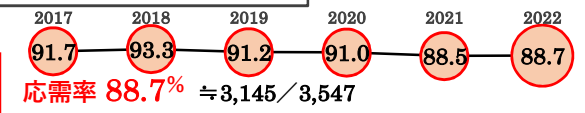


南奈良総合医療センター

3,145件 (65.0%)

要請あったが他の医療機関へ **402件 (8.3%)**

要請なし 直接、他の医療機関へ **1,290件 (26.7%)**



※ 応需できなかった主な理由
 3次救急対応で専門外、救急センター混雑・緊急手術、ベッド満床

その他

1,692件 (35.0%)

- 奈良医大HP 518件 (10.7%)
- 橋本市民HP 159件 (3.3%)
- その他 1,015件 (21.0%)

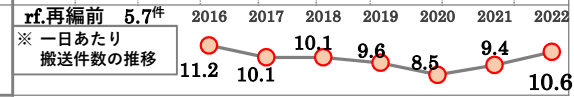
■ 救急患者について、公立へき地診療所での受診歴があれば、南奈良HCの医師は**患者到着までに診療所の電子カルテ情報を共有・閲覧して、最適な治療につなげている**

● 「その他」の内訳

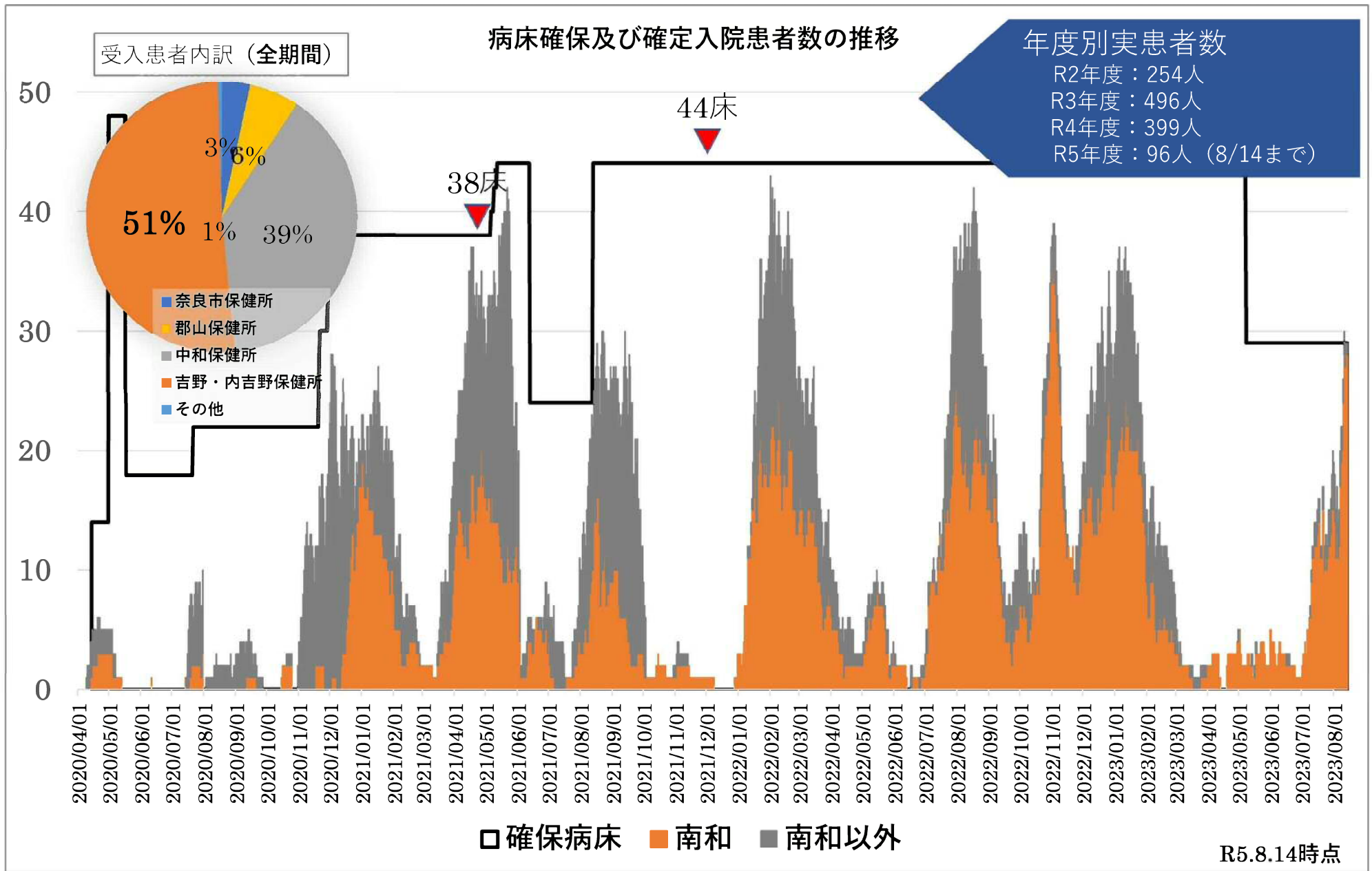
医療機関名	件数	医療機関名	件数
奈良県ドクターヘリコプター	141	医療法人泰山会福西クリニック	2
社会福祉法人恩賜財団済生会御所病院	94	紀南病院(和歌山県)	2
公益財団法人 天理よろづ相談所病院	74	公立那賀病院	2
社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院	53	医療法人 敬慈会 服部記念病院	2
中井記念病院	52	市立奈良病院	1
医療法人 権原友誼会 大和権原病院	49	医療法人 康仁会 西の京病院	1
医療法人 藤井会 香芝生喜病院	43	京都山城総合医療センター	1
大和高田市立病院	43	奈良総合医療センター救急救急センター	1
平成記念病院	41	医療法人 光和会 きのした眼科クリニック	1
社会医療法人 健生会 土庫病院	39	万葉クリニック	1
紀和病院	38	医療法人 社団 岡田会 山山の辺病院	1
社会医療法人 高清水 高井病院	34	医療法人 中川会 飛鳥病院	1
十津川村国民健康保険 小原診療所	33	天川村国民健康保険 直営診療所	1
新宮市立医療センター	31	山岸眼科医療	1
医療法人 興生会 吉本整形外科病院	30	医療法人 榎本病院	1
奈良西和医療センター	27	医療法人 室山会 奈良小南病院	1
国保中央病院	24	医療法人 青学会 倉庫病院	1
南和広域医療企業団 吉野病院	15	高野町立 高野山総合診療所	1
紀南病院(三重県)	14	和歌山県立 紀北分院	1
宇陀市立病院	13	奈良県消防防災ヘリコプター	1
医療法人 湯池会 秋津湖池病院	12	酒本 瑞穂科医院	1
奈良総合医療センター	9	下北山村国民健康保険 診療所	1
南和広域医療企業団 五條病院	9	橋本クリニック	1
南和病院	7	医療法人 社団 清心会 桜井病院	1
南和歌山医療センター	7	吉田病院	1
医療法人 拓誠会 辻村病院	6	牧野眼科	1
医療法人 青山会 郡山青藍病院	4	医療法人 徳洲会 八尾徳洲会総合病院	1
社会医療法人 高清水 香芝旭ヶ丘病院	4	十津川村国民健康保険 上野地診療所	1
医療法人 桂会 平尾病院	3	耳鼻咽喉科 いぬいクリニック	1
独立行政法人 国立病院機構 やまと精神医療センター	3	医療法人 友愛会 かつらぎクリニック	1
一般財団法人 信貴山病院 ハートランドさざん	3	森川耳鼻咽喉科	1
山本病院(橋本市)	3	大阪大学医学部附属病院	1
医療法人 泉恵会 恵王病院	3	兵庫医科大学病院	1
近畿大学病院	2	黒滝村国民健康保険 診療所	1
中辻医院	2	医療法人 徳洲会 松原徳洲会病院	1
医療法人 向聖会 富麻痺病院	2	医療法人 八甲会 瀬田病院	1
和歌山県ドクターヘリコプター	2	医療法人 和幸会 阪奈中央病院	1
生駒市立病院	2	梅本整形外科	1
近畿大学奈良病院	2	合計	1,015

※ 「奈良県ドクヘリ」「和歌山県ドクヘリ」は、ランデブーポイントまでの搬送

救急搬送状況	県広域消防組合 総搬送数	累 計																				
		受 入 れ 医 療 機 関																				
		南奈良総合医療センター									奈良医大			橋本市民			その他					
	2021	2022	増減	要請数(A)		受入数(B)		応需率(B/A)		救命・ER・外来												
奈良県広域消防組合	中吉野	大淀署	991	1,105	114	685	763	78	608	675	67	88.8%	88.5%	128	173	45	4	8	4	251	249	-2
		下市署	356	372	16	277	299	2	247	269	22	89.2%	90.0%	28	29	1	0	1	1	81	73	-8
		黒滝分署	66	73	7	55	56	1	48	50	2	87.3%	89.3%	3	5	2	0	0	0	15	18	3
	五條	天川分署	111	124	13	82	89	7	66	79	13	80.5%	88.8%	8	11	3	0	0	0	37	34	-3
		五條署	1,758	1,930	172	1,361	1,481	120	1,171	1,280	109	86.0%	86.4%	148	193	45	122	130	8	317	327	10
		大塔分署	75	85	10	54	64	10	48	58	10	88.9%	90.6%	3	4	1	3	1	-2	21	22	1
		十津川分署	183	182	-1	83	92	9	75	82	7	90.4%	89.1%	7	5	-2	3	1	-2	98	94	-4
	吉野	西吉野出張所	156	190	34	127	153	26	117	130	13	92.1%	85.0%	8	25	17	8	9	1	23	26	3
		吉野署	585	663	78	417	487	70	399	463	64	95.7%	95.1%	39	63	24	0	0	0	147	137	-10
	野迫川	北山分署	66	83	17	26	48	22	23	46	23	88.5%	95.8%	4	4	0	0	0	0	39	33	-6
野迫川分署		33	30	-3	19	15	-4	17	13	-4	89.5%	86.7%	2	6	4	5	9	4	9	2	-7	
南和地域 計		4,380	4,837	457	3,186	3,547	361	2,819	3,145	326	88.5%	88.7%	378	518	140	145	159	14	1,088	1,015	-23	
中和	御所署	1,854	2,007	153	285	336	51	225	254	29	78.9%	75.6%	287	397	110	3	3	0	1,339	1,353	14	
	高市署	1,003	1,137	134	92	103	11	68	76	8	73.9%	73.8%	178	263	85	0	0	0	757	798	41	
宇陀	宇陀署	1,951	2,165	214	35	71	36	29	53	24	82.9%	74.6%	204	303	99	0	0	0	1,718	1,809	91	
	その他	37,003	41,982	4,979	-	-	-	283	319	36	-	-	4,185	5,022	837	0	4	4	32,535	36,637	4,102	
県消防 合計		46,191	52,128	5,937	-	-	-	3,424	3,847	423	-	-	5,232	6,503	1,271	148	166	18	37,387	41,612	4,225	
(県内応需率※1)							(84.9)	(84.1)														
他消防(県外等)							19	8	-11													
総 計							3,443	3,855	412													



南奈良総合医療センターにおける新型コロナウイルス患者の入院受入状況（地域別）



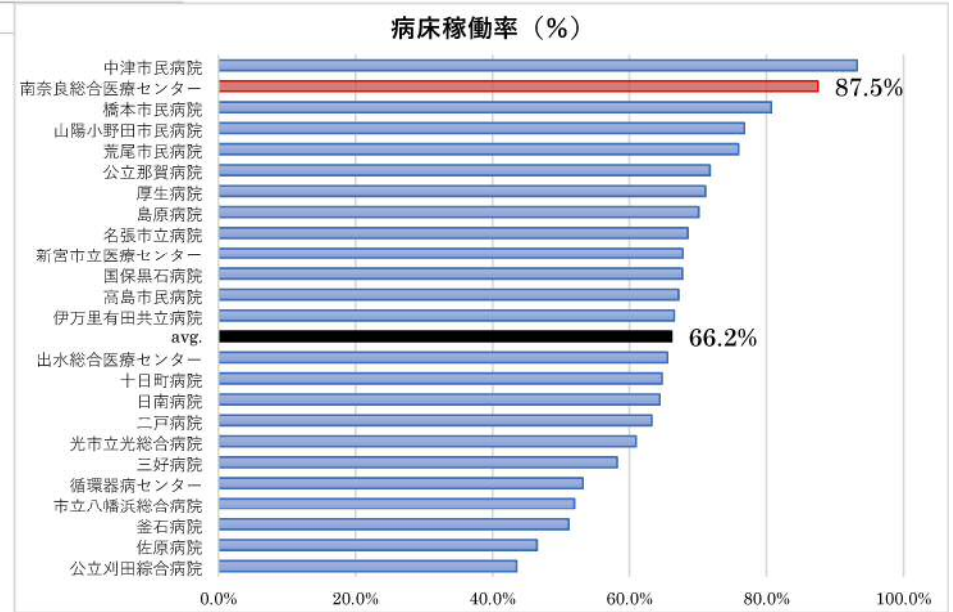
類似病院との比較

不採算地区中核病院（200～300床：全国24公立病院）

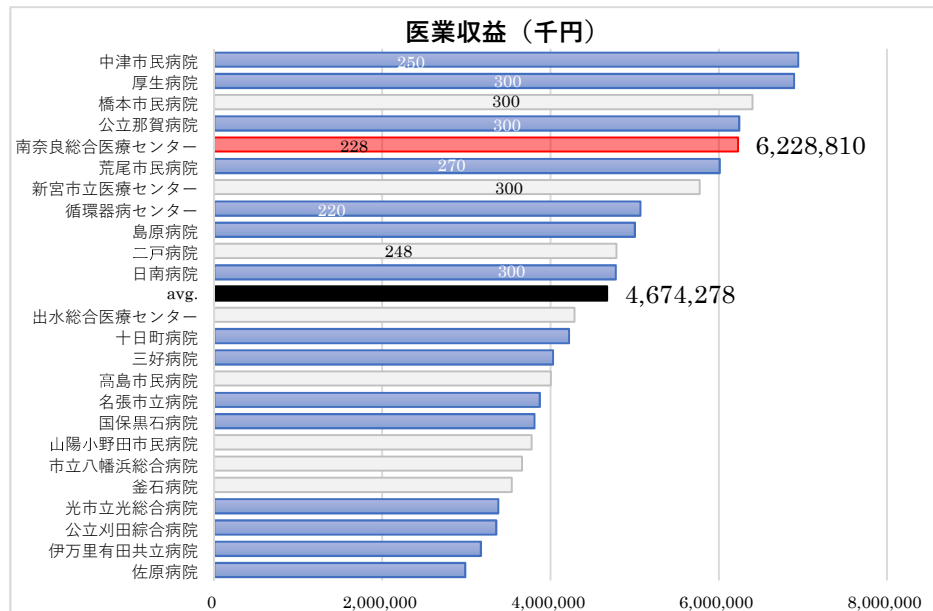
総務省「令和2年度 地方公営企業年鑑（病院事業）」より

病床稼働率が高く、300床規模や7：1看護基準の病院と比べても遜色のない医業収益を確保しています。
その結果、構成団体からの繰入金も低位にあります。

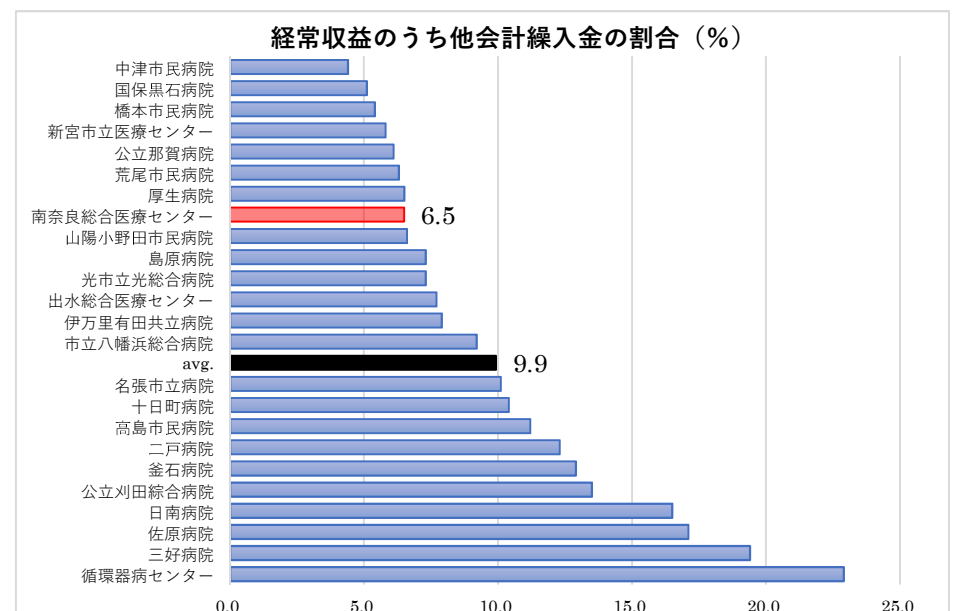
病床数順	病院名	都道府県	事業開始年度	一般病床数	看護の基準	職員数	コロナ病床 R4.11.16	割合
1	新宮市立医療センター	和歌山県	1947	300	10:1	386	32	10.5%
1	公立那賀病院	和歌山県	1950	300	7:1	485	65	21.4%
1	厚生病院	鳥取県	1963	300	7:1	584	47	15.5%
1	橋本市民病院	和歌山県	1963	300	10:1	489	51	17.0%
5	日南病院	宮崎県	1948	277	7:1	483	10	3.6%
6	十日町病院	新潟県	1949	275	7:1	391	42	15.3%
7	釜石病院	岩手県	1950	272	10:1	364	4	1.5%
8	荒尾市民病院	熊本県	1949	270	7:1	577	39	14.2%
9	国保黒石病院	青森県	1944	257	7:1	336	2	0.8%
9	出水総合医療センター	鹿児島県	1925	257	10:1	452	20	7.7%
11	公立刈田総合病院	宮城県	1949	254	10:1	476	4	1.5%
11	市立八幡浜総合病院	愛媛県	1928	254	10:1	323	20	7.8%
13	島原病院	長崎県	1966	250	7:1	424	24	9.4%
13	中津市民病院	大分県	2000	250	7:1	526	26	10.4%
15	二戸病院	岩手県	1950	248	10:1	450	8	3.2%
16	佐原病院	千葉県	1955	237	7:1	474	12	5.0%
17	南奈良総合医療センター	奈良県	2016	228	10:1	473	44	19.0%
18	循環器病センター	千葉県	1955	220	7:1	551	17	7.7%
19	山陽小野田市民病院	山口県	1950	215	10:1	304	15	7.0%
20	光市立光総合病院	山口県	2019	210	7:1	345	6	2.9%
21	三好病院	徳島県	1956	206	7:1	327	39	17.7%
21	高島市民病院	滋賀県	1981	206	10:1	416	15	7.1%
23	伊万里有田共立病院	佐賀県	2012	202	7:1	330	32	15.5%
24	名張市立病院	三重県	1994	200	7:1	382	24	12.0%



赤色；南奈良総合医療センター 黒色；平均、以下同じ



灰色；10:1看護基準



- **南奈良総合医療センターのDPC機能評価係数IIは、県内類似病院中、第1位**
- **全国1498病院中、27位**

機能評価係数IIとは以下の6項目により、DPC採用病院の経営効率等を評価する指標であり、診療報酬による加算があります。

- ① 保険診療係数：質が遵守されたDPCデータの提出が適切に行っていれば高く評価されます。
- ② 効率性係数：各医療機関の在院日数短縮への努力を行っていれば高く評価されます。
- ③ 複雑性係数：重症度が高い患者がより多く入院していれば高く評価されます。
- ④ カバー率係数：様々な疾患に対応していれば高く評価されます。
- ⑤ 救急医療係数：救急医療（緊急入院）が多く入院していれば高く評価されます。
- ⑥ 地域医療係数：体制評価指数（災害拠点病院、DMAT、コロナ対策等）に加え地域医療への貢献度が高ければ高く評価されます。

※DPC制度とは、急性期入院医療を対象とする診断群分類に基づく一日当たりの包括払い制度のことです。

- 出来高による過度の請求を防ぎ、診療の標準化・透明化、さらに診療の質を向上させるために2003年に導入されました。
- DPC病院は、以下の3つにカテゴライズされます。
 - ・ 大学病院群（全国82病院）：「奈良県立医科大学附属病院」
 - ・ 特定病院群（全国181病院）：「奈良県総合医療センター」、「公益財団法人天理よろづ相談所病院」
 - ・ 標準病院群（全国1498病院）：当院と他19病院

									順位	病院名	係数	
南奈良総合医療センター機能評価係数II	開院時	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目	開院6年目	開院7年目	開院8年目	1	南奈良総合医療センター	0.1538	
	H28係数	H29係数	H30係数	H31係数	R2係数	R3係数	R4係数	R5係数	2	市立奈良病院	0.1210	
	4月～	4月～	4月～	4月～	4月～	4月～	4月～	4月～	3	奈良県西和医療センター	0.1081	
	20位／20病院	3位／20病院	1位／20病院	1位／20病院	1位／20病院	1位／20病院	1位／20病院	1位／20病院	4	済生会御所病院	0.1038	
	586位／1446病院	360位／1664病院	31位／1493病院	41位／1493病院	42位／1519病院	42位／1519病院	33位／1501病院	27位／1498病院	5	近畿大学奈良病院	0.1028	
	0.06240	0.06920	0.13230	0.13250	0.13010	0.13010	0.14770	0.15380	6	生駒市立病院	0.1006	
	①保険診療係数	0.00806	0.00806	0.01617	0.01605	0.01575	0.01575	0.01764	0.01762	7	高井病院	0.0956
	②効率性係数	0.00412	0.00674	0.02004	0.02221	0.01907	0.01907	0.02309	0.02209	8	済生会中和病院	0.0916
	③複雑性係数	0.01353	0.01381	0.02168	0.01961	0.01955	0.01955	0.01884	0.02266	9	平成記念病院	0.0840
④カバー率係数	0.00292	0.00381	0.01193	0.01173	0.01206	0.01206	0.01322	0.01340	10	大和高田市立病院	0.0825	
⑤救急医療係数	0.01285	0.01464	0.02739	0.02484	0.02603	0.02603	0.02952	0.02797	11	白庭病院	0.0784	
⑥地域医療係数	0.01034	0.01265	0.03509	0.03808	0.03761	0.03761	0.04535	0.05001	12	宇陀市立病院	0.0764	
機能評価係数II合計									13	高の原中央病院	0.0735	
									14	香芝旭ヶ丘病院	0.0728	
									15	西奈良中央病院	0.0721	
									16	大和郡山病院	0.0672	
									17	田北病院	0.0573	
									18	国保中央病院	0.0538	
									19	済生会奈良病院	0.0527	
									20	西の京病院	0.0511	

令和4年度（4～3月）診療状況について（入院）

南奈良総合医療センター・吉野病院・五條病院

五條病院, 10.3%
吉野病院, 11.8%



入院

入院患者数

- 南奈良HC・五條病院（7床増）では、昨年度を上回る状況が続いている

診療単価

- 南奈良HCでは、コロナ対応で高い水準が続いている

参考

南奈良総合医療センター, 77.8%

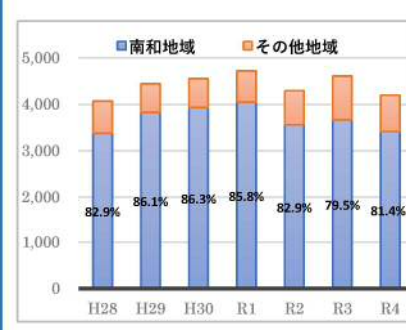
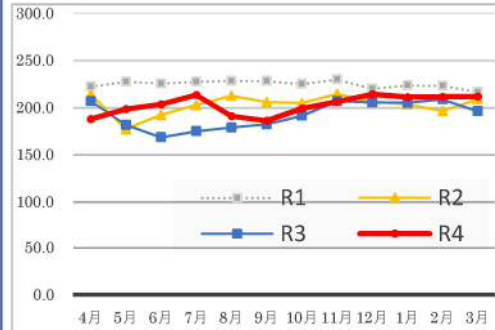
地域別患者数の状況

- 患者のうち84～95%は南和地域の住民

南和地域市町村別患者数

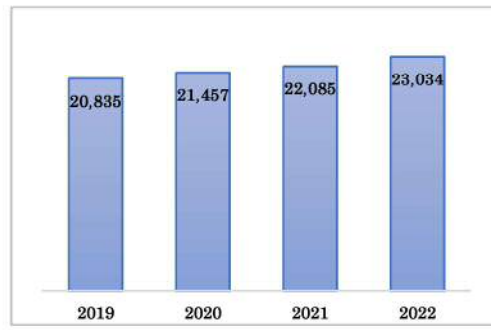
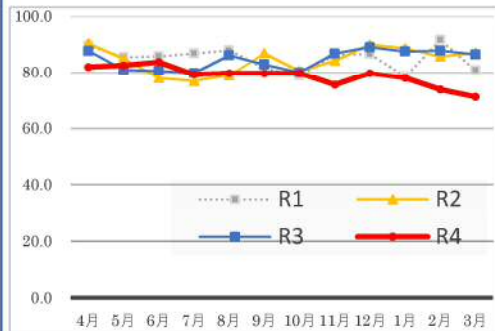
- 南奈良HCでは、約84%（7年平均）
- 吉野病院では、約95%（同上）
- 五條病院では、約92%（6年平均） ※ 実患者数

南奈良総合医療センター



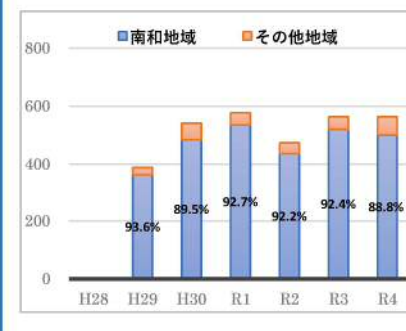
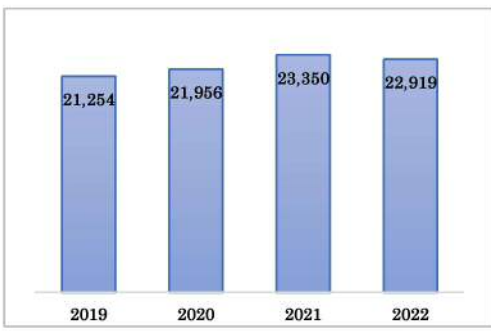
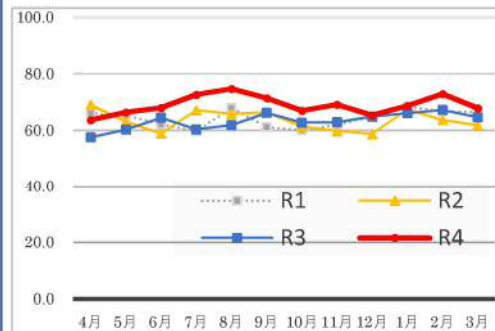
(入院)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28-R4
五條市	1,476	1,640	1,675	1,712	1,536	1,598	1,538	
吉野町	380	458	465	477	423	386	400	
大淀町	839	949	947	999	889	941	830	
下市町	339	319	352	360	312	329	259	
黒滝村	46	56	45	50	40	35	36	
天川村	61	85	93	82	72	80	81	
野迫川村	7	24	20	29	15	26	18	
十津川村	106	140	144	163	135	135	125	
下北山村	10	15	30	35	26	24	26	
上北山村	21	24	36	34	30	30	18	
川上村	79	98	96	91	68	63	68	
東吉野村	15	23	31	22	19	23	20	

吉野病院



(入院)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28-R4
五條市	90	42	17	19	30	35	30	
吉野町	194	249	247	212	215	193	194	
大淀町	101	132	132	157	155	173	170	
下市町	49	59	84	74	77	70	45	
黒滝村	4	3	2	7	7	12	11	
天川村	8	12	16	13	18	17	15	
野迫川村	2	0	1	0	0	1	0	
十津川村	7	8	1	3	9	3	4	
下北山村	2	2	4	5	4	4	4	
上北山村	6	8	9	11	5	6	6	
川上村	27	31	47	34	28	32	36	
東吉野村	7	6	8	5	4	6	4	

五條病院



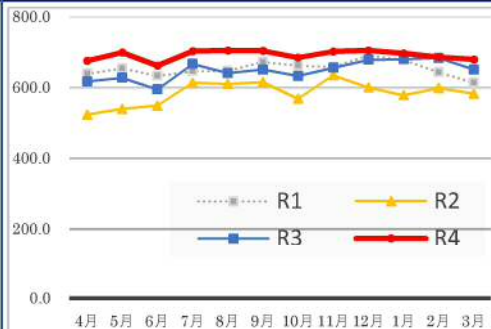
(入院)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28-R4
五條市	0	285	396	428	343	421	403	
吉野町	0	2	4	3	5	5	2	
大淀町	0	24	31	37	33	31	37	
下市町	0	9	10	15	9	8	12	
黒滝村	0	2	4	4	1	0	1	
天川村	0	7	4	7	2	0	4	
野迫川村	0	5	5	8	7	10	5	
十津川村	0	26	30	33	34	44	32	
下北山村	0	2	1	1	3	1	1	
上北山村	0	0	0	0	0	0	3	
川上村	0	2	0	0	0	1	1	
東吉野村	0	0	0	0	0	0	0	



外 来

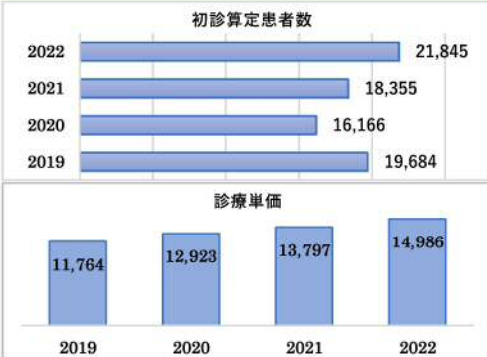
外来患者数

- 南奈良HC・五條病院では、コロナ対応で患者が増加している



診療単価

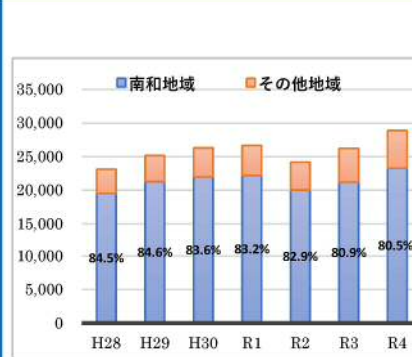
- コロナ対応で高い水準が続いており、新規外来患者も増加している



参 考

地域別患者数の状況

- 患者のうち83～95%前後は南和地域の住民



南和地域市町村別患者数

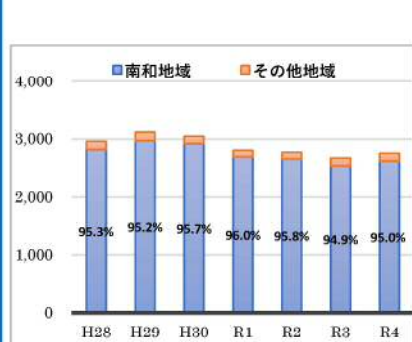
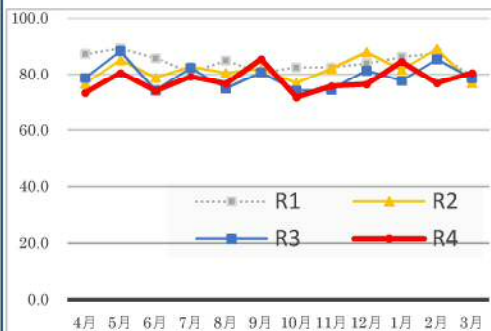
- 南奈良HCでは、約83%（7年平均）
- 吉野病院では、約95%（同上）
- 五條病院では、約94%（6年平均） ※ 実患者数

(外来)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28-R4
五條市	7804	8602	8861	8,938	8,151	8878	9755	
吉野町	1928	2346	2410	2,456	2,149	2207	2475	
大淀町	6158	6574	6771	6,796	6,189	6560	7232	
下市町	2177	2092	2109	2,126	1,897	1927	2027	
黒滝村	127	218	240	238	196	205	238	
天川村	355	377	392	389	354	347	372	
野迫川村	38	59	60	68	68	79	68	
十津川村	314	403	442	457	418	397	416	
下北山村	55	36	76	101	90	76	79	
上北山村	58	95	114	122	120	116	141	
川上村	486	415	426	412	333	337	382	
東吉野村	56	83	103	105	93	104	108	

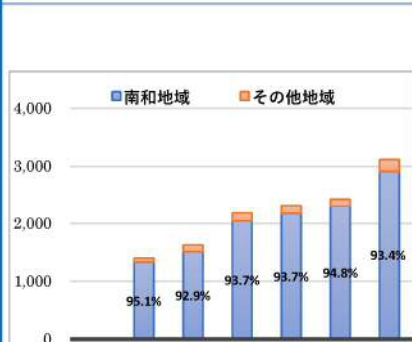
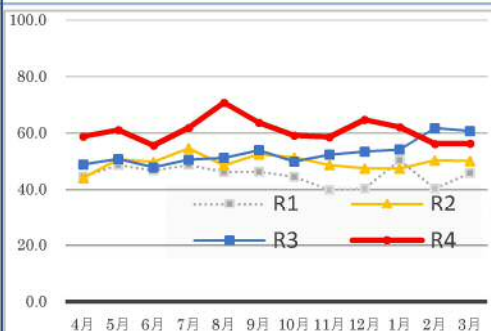
南奈良総合医療センター

吉野病院

五條病院



(外来)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28-R4
五條市	48	53	28	34	33	25	32	
吉野町	2015	2103	2039	1,855	1,877	1837	1833	
大淀町	424	468	488	457	438	418	456	
下市町	89	94	123	126	105	83	102	
黒滝村	3	3	3	8	11	7	8	
天川村	14	20	20	20	18	14	12	
野迫川村	0	0	1	0	0	0	0	
十津川村	0	2	1	3	4	1	2	
下北山村	2	5	4	5	3	3	3	
上北山村	8	10	10	12	8	6	6	
川上村	194	196	184	152	138	125	136	
東吉野村	23	17	19	20	21	17	29	



(入院)	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28-R4
五條市	0	1269	1444	1,901	2045	2194	2785	
吉野町	0	7	7	16	12	12	11	
大淀町	0	16	18	42	45	41	51	
下市町	0	8	9	19	18	14	13	
黒滝村	0	1	5	6	4	0	2	
天川村	0	6	5	11	8	8	11	
野迫川村	0	2	3	14	4	3	5	
十津川村	0	24	23	38	38	30	31	
下北山村	0	0	0	0	2	0	1	
上北山村	0	0	0	0	1	1	1	
川上村	0	1	0	0	0	1	2	
東吉野村	0	0	0	0	0	1	1	

令和 5 年度南和広域医療企業団病院事業会計補正予算案（第 1 号）について

「資本的収支」補正予算の概要

資本的収入

補正予算額	71,900千円
※費用増額に係る財源については、病院事業債の発行により対応	
款) 資本的収入	2,083,985千円
項) 企業債	1,164,500千円
目) 企業債 71,900千円

資本的支出

補正予算額	71,900千円
【補正理由】	
・建設資材、施工費の高騰に伴う増額	
・工法変更及び工期延長に伴う増額	
款) 資本的支出	2,187,945千円
項) 建設改良費	1,924,344千円
目) 病院改築事業費	
・工事請負費 69,250千円
・工事事務費 2,650千円

(仮称) 発熱外来棟の竣工及び供用開始について

【(仮称)発熱外来棟の概要】

○建物概要	鉄筋コンクリート造 地上2階(耐震) 延べ床面積 601.34㎡
(1階)	診察室 3室、観察室、会議室 2室 更衣室(災害対応用)等
(2階)	在宅医療支援センター、訪問看護ステーション スキルアップ室、会議室 2室 カンファレンス室 4室
○整備費	・建設費 451,000千円 ・工事監理費 10,900千円
○工期等	着工 令和4年11月1日 竣工 令和5年8月末(4月末から4月延長) 供用開始 令和5年9月中旬(予定)

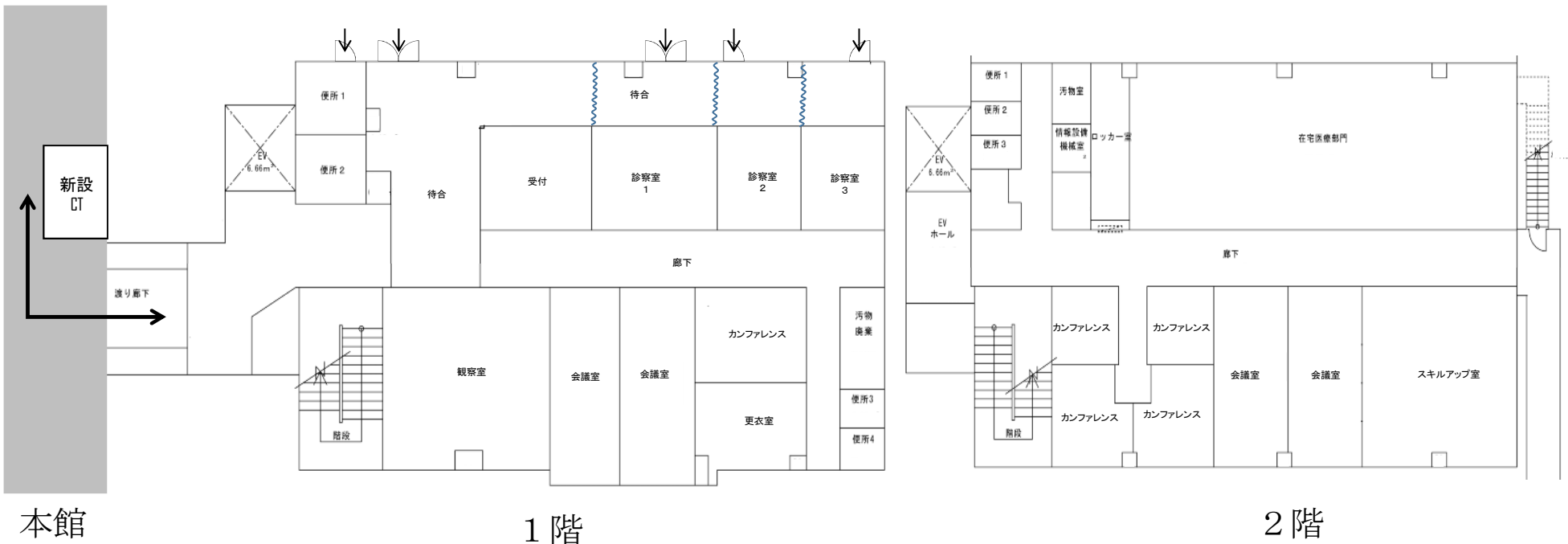
■工期延長となった原因

- ・地盤掘削の工法変更による工期延長
- ・建設資材の調達難等による工期延長

■建設費等増額補正の内訳 ※精査中

○建設資材、施工費の高騰に伴う増額 (建設工事)	22,900千円	・生コン、鉄筋等の資材価格の高騰 ・電気設備機器、空調機器の高騰
○工法変更及び工期延長に伴う増額 (工法変更に伴う建築工事費)	15,000千円	・大型特殊機械による掘削作業等
(仮設費)	11,700千円	・建設現場内の仮設物の設置料、賃借料
(管理費)	33,934千円	・建築、電気、機械各現場監督経費
○工事監理費	2,980千円	・延長に伴う光熱水費、諸経費等 ・延長に伴う工事監理費

原契約	(建設費) 367,466千円 (監理費) 7,920千円 合計 375,386千円	(予算額) 390,000千円
変更後	(建設費) 451,000千円 (監理費) 10,900千円 合計 461,900千円	71,900千円を補正 (予算額) 461,900千円



令和4年度南和広域医療企業団病院事業会計予算繰越について

- 【 繰越額 】 390,000千円
- 【 対象事業 】 (仮称)発熱外来棟整備事業
- 【 繰越理由 】 工事着工遅れによる工期延長

《 支出内訳 》

工事請負費	381,750 千円
工事事務費	8,250 千円

《 財源内訳 》

国・県補助金	152,439 千円
企業債	141,600 千円
他会計負担金	95,900 千円
損益勘定留保資金	61 千円

地方公営企業法(参考)

第二十六条 予算に定めた地方公営企業の建設又は改良に要する経費のうち、年度内に支払義務が生じなかつたものがある場合においては、管理者は、その額を翌年度に繰り越して使用することができる。

2 (略)

3 前二項の規定により予算を繰り越した場合においては、管理者は、地方公共団体の長に繰越額の使用に関する計画について報告をするものとし、報告を受けた地方公共団体の長は、次の会議においてその旨を議会に報告しなければならない。

令和4年度 南和広域医療企業団 病院事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条の定めによる、資金不足比率について下記のとおり報告いたします。

比率の概要

①資金不足比率の算定

○地方公共団体の長は、毎年度公営企業ごとに資金不足比率を算定、監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告、公表

②経営健全化基準(20%)以上となった場合

○経営健全化計画を議会の議決を経て作成、毎年度、経営健全化の実施状況を議会に報告し公表

算定式

(単位:千円)

項目	
1. 流動負債 (① - ②)	1,391,898
① 流動負債	1,601,725
② 控除企業債	209,827
2. 令和2年度同意等債で未借入または未発行の額	0
3. 建設改良費等以外の経費に対する地方債の現在高	0
4. 流動資産	5,396,423
5. 令和3年度に繰り越される支出の財源充当額	0
6. 医業収益(事業規模)	9,831,911
資金不足額 (1-2)+3-(4-5)	△ 4,004,525
資金不足比率 $\{(1-2)+3-(4-5)\} / 6 \times 100$	—

※ 資金不足比率なしのため、「—」と表記

【指標の説明】

公営企業ごとの「資金の不足額」の「事業規模」に対する比率。

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す。

算定結果

令和4年度決算に基づき、南和広域医療企業団病院事業の資金不足の算定を行ったところ、下記のとおり資金不足が生じていないため、資金不足比率の該当はなし。

事業名	資金不足比率	備考
病院事業	—	資金不足なし

※ 資金不足比率なしのため、「—」と表記